

看護師、歯科衛生士をはじめ、口腔ケアに従事する医療関係者必携

口腔ケア 基礎知識

口腔ケア 4級・5級認定資格基準準拠

編集：日本口腔ケア学会

■B5判■376頁■2色刷■定価3,500円(税込)

ISBN978-4-8160-1199-3 C3047

認定試験の出題要綱に準拠

■口腔ケアを現在行っている方、また今後実施しようとする方に最低限知っておいてもらいたい120項目について、わかりやすく解説。日本を代表する口腔ケアの第一人者や、各分野の専門家が執筆した口腔ケアテキスト。

■看護師、歯科衛生士、言語聴覚士など介護、医療の現場で働く方が口腔ケアを実施するうえで知りたいこと、調べたいことがすぐ探せるように編集。実務を支える必須な知識・情報が満載。

■日本口腔ケア学会認定試験出題テーマと目次を符合させ、受験者が学習しやすいように配慮。教育の場で口腔ケアを学ぶときのテキストとしても最適。



写真1 衛生的な手洗い—流水と使用石鹸—

豊富な写真、イラスト

20 栄養ケアマネジメントと口腔ケア

1. 栄養ケアマネジメントとは

栄養ケアマネジメントは、「ヘルスケアサービスの一環として、個々に最適な栄養ケアを行い、その実施運行上の機能や方法手順を効率的にするための体制」と定義され、栄養スクリーニング（低栄養状態の判定）、栄養アセスメント（評価分析）、栄養改善サービスの計画作成・実施・再評価、さらにこれらに必要となる栄養検査などを行っている。具体的には、患者または介護サービス利用者、個々の栄養状態を把握し、個々の栄養状態のチェックを行い、栄養の質を重視した健康寿命の延伸、医師の現場管理、近年、医師の現場管理に希望に沿った治療・管理、おおいしく、食べて出ることが最優先されている。こうしたことから介護者、医療従事者のみならず、周囲の人が適切な口腔ケアを知り、身に付けていくことは、栄養管理において大変有意義である。

2. 介護の現場での栄養ケアマネジメント

2005年10月の介護保険制度の改定で、「栄養管理体制加算」、「栄養マネジメント加算」、「経口移行加算」などが新設され、2006年4月からは新予防給付という形で、「栄養ケアマネジメント」と「口腔機能向上」による重症化の予防に重点を置いたシステムが新たに構築された。取り組みとしては、栄養改善にとどまらず、高齢者が社会生活に積極的に参加できるように、運動機能向上や、閉じこもり・認知症・うつ等の予防などに対する支援も含まれる。同時に、通所介護（デイサービス）と呼ばれる、日帰りの機能訓練や日常生活訓練などの介護が改正され、外出して通い、集団での社会的な交流を図ることができるようになった。

実際には、一般高齢者（65歳以上のすべての高齢者）に、ポスターやイベントなどの地域栄養改善活動を通じて栄養に対する啓蒙を行い、介護予防特定高齢者に対しては基本チェックリスト（表1）を用いてリスクを把握し、予防的な介護ケアプランを作成することが勧められている。特に、基本チェックリストの「11.6ヶ月間で2-3kg以上の体重減少がある」に該当し、BMI（Body Mass Index）が18.5未満、もしくは血中アルブミ

理解を深めるMEMO、用語解説を適宜配置

用語解説

- 新予防給付：従来の要支援および要介護1の中でも介護必要度の比較的低い人（要支援1.2と呼ぶ）を対象とした介護制度。
- 介護予防特定高齢者：65歳以上で介護保険を利用するほどではないものの、介護が必要となる可能性の高い高齢者。

MEMO 1 手洗い前後の留意点

- 爪を切っておく。
- 時計や指輪を外す。
- 袖をまくる。
- 水道栓に直接手を触れないように、ペーパータオルや皿で開け閉めする。
- 石鹸は液体石鹸で、直接触れないで抽出できる形式が望ましい。注1：つぎ足はしない。注2：使用開始日を容易に記録する。
- すすぎの水、水が衣服や床に飛び散らないように注意する。
- ペーパータオルと枚数を下方取り出し型のホルダーから（タオルの横断使用は禁止）。
- 手洗いや指に顔や髪に触れない。
- 手洗いによる皮膚の乾燥は感染源にもなるので、皮膚保護剤を塗布する。

本社・商品センター
〒602-8446 京都市上京区五辻通大宮西入五辻町69-2
TEL:075-415-7280 FAX:075-415-7290
E-mail:kyoto@nagasueshoten.co.jp

永末書店
http://www.nagasueshoten.co.jp

東京・編集部
〒110-0005 東京都台東区上野1-18-11西楽堂ビル4F
TEL:03-3831-5211 FAX:03-5818-1375
E-mail:tokyo@nagasueshoten.co.jp(東京店代表)

口腔ケア基礎知識

I 基礎知識

1. 口腔ケアの定義
2. 噛むことの意義
3. 口腔のしくみと働き
4. 口腔組織の加齢変化について
5. 口腔内の微生物
6. 口腔の観察のポイント
7. 口腔ケアをするときの注意事項
8. 口腔ケアによる感染予防効果
9. 口腔ケアと誤嚥性肺炎
10. 口腔癌と口腔ケア
11. 口腔ケア前の手洗いのポイント
12. 口腔ケアの一般的な方法について
13. 口腔粘膜の清掃法
14. 舌の清掃法
15. 寝たきり高齢者の口腔ケア
16. 口腔ケアにおけるチームケアの重要性
17. 口腔ケアと言語
18. 病棟における看護師の口腔ケア業務
19. 栄養管理と口腔ケア
20. 栄養ケアマネジメントと口腔ケア

II 歯磨き

21. 歯ブラシの選択
22. 歯磨き剤の種類、効果、使用法
23. 歯間ブラシ (Inter dental brush)
24. 電動歯ブラシとジェット水流式口腔清浄器
25. 補助的清掃用具
26. 染め出しの意義と方法
27. 自分で歯磨きができない人に効果的に歯磨きを介助する方法
28. 歯磨き方法の適応と種類
29. 障害の種類別の歯磨きの工夫

III うがい

30. うがいの一般的な方法
31. 含嗽薬の種類と成分
32. うがいのできない人のケアの方法 (高齢者以外、意識障害者など)
33. ケア時、水に対して「むせ」のある患者の方法と注意点
34. 高齢者にうがいをさせるときの注意点
35. 子どものうがいの指導方法

IV 義歯について

36. 義歯の種類
37. 義歯の入れ方、取り外し方
38. 義歯の管理
39. 義歯を取り外した後の口腔ケア
40. 義歯の接着剤、安定剤の種類と成分
41. 義歯の洗浄剤とその目的
42. 義歯装着による味の変化と変色について
43. 義歯使用患者の食事の注意点
44. 義歯の悪臭について

44. 義歯の悪臭について
45. 義歯性口内炎の予防法
46. 義歯洗浄剤でなかなか取れない汚れ
47. 義歯などの補綴物を飲み込んでしまったときの対応
48. 合わない義歯を長期間使用した場合の問題点
49. 金属の義歯床の利点・欠点
50. 歯が抜けたままに放置した場合の問題点

V 口臭

51. 口臭の原因
52. 口臭を防ぐ消臭剤
53. 口臭がひどい高齢者に對する口腔ケアと口臭の原因
54. 自己臭症の人への指導
55. 口臭測定器

VI 体に障害や病気のある人

56. 片麻痺などで上手く歯磨きができない人への指導方法
57. 座位をとりづらい人の口腔ケア
58. 首の屈曲・回転があまりできない人の口腔ケア
59. 舌をいっつも出し入れし、緊張するとさらに強くなる人の口腔ケア
60. 認知症のある人の口腔ケア
61. 意識障害があり、口腔ケア用品を入れると噛んでしまう人の口腔ケア
62. 痛いところがあっても、訴えることができない人の口腔ケア
63. 痰の処理が自分でできない人への口腔ケア
64. 経管栄養中の患者の口腔ケア
65. 挿管中の患者の口腔ケア
66. 口腔癌患者の治療前の口腔ケア
67. 口腔癌に対する化学療法、放射線治療時の口腔ケア
68. 出血傾向にある患者の口腔ケア
69. 有熱患者の口腔ケア
70. 糖尿病患者の口腔ケア
71. 心疾患患者の口腔ケア
72. 血液疾患患者の口腔ケア
73. ベーチェット病患者の口腔ケア
74. 口腔カンジダ症がある人の口腔ケア
75. MRSAの患者の口腔ケア
76. 抗てんかん薬服用者の口腔ケア
77. 口腔内に外傷のある患者の口腔ケア
78. 矯正装置を装着している人への口腔ケア

VII むし歯(う蝕)と歯周病

79. キシリトールについて
80. 高齢者のむし歯の特徴
81. 歯周病とは
82. 歯周病のチェックポイントと予防法
83. グラグラして抜けかかっている歯と口腔ケア
84. 歯周病と喫煙の関係から
85. 歯周病と関連する生活習慣との関係
86. 歯周病患者の口腔ケア

VIII 出血

87. 歯肉からの出血(悪性疾患も含めて)の原因
88. 出血しやすい患者のブラッシングについて
89. 口内炎、口角びらんのある人の口腔ケア
90. 高齢者が歯肉出血しやすい原因
91. 口腔ケア時の歯肉から出血の対応
92. 抜歯後患者の口腔ケア

IX 口腔乾燥

93. 唾液
94. 口腔内、口唇の乾燥を防ぐ対策
95. 口蓋に痰がこびりついているときの対応
96. 人工唾液
97. 口腔乾燥と口腔ケア
98. 口唇が切れやすい人の口腔ケア

X 摂食・嚥下障害

99. 摂食・嚥下障害
100. 摂食・嚥下障害者の口腔ケア
101. 嚥下障害を改善していくための留意点
102. 嚥下障害のある人の口腔清掃の留意点
103. 摂食・嚥下障害のある人の食事の注意点(在宅を含む)
104. 摂食時のトラブルへの対処法
105. 誤嚥を防ぐための義歯の有用性
106. 摂食・嚥下障害の検査法

XI 在宅

107. 口を開けてくれない人への口腔ケア
108. 在宅で口腔ケアを行う場合の介護者(家族あるいは在宅介護者)への指導
109. 口腔機能の改善のための訓練(在宅で可能な事項)

XII そのほか

110. よだれが出やすい人への対応
111. 歯ぎしりがひどい高齢者への対応
112. 顎が外れた場合の対応
113. 口内炎がでやすい人の原因と対策
114. 口腔癌と口内炎の鑑別ポイント
115. 口腔用軟膏、貼布剤
116. ステロイド軟膏の塗布が適切ではない口内炎
117. 砂糖以外のアスパルテームなどの甘味料とむし歯
118. 要介護高齢者に口腔ケアを行う際に起こりうる偶発症
119. 出血傾向を有する人の口腔ケアに必要な検査
120. 喫食障害

ご注文書

お取り引き業者、書店様にお渡しいただくか、永末書店・商品センターまで

TEL:075-415-7280

FAX:075-415-7290

E-mail:kyoto@nagasueshoten.co.jp

ご記入いただいた個人情報は、弊社の個人情報保護方針に則り厳重に管理し、第三者への提供や社外への業務委託は行いません。

●ご注文書籍

口腔ケア基礎知識

定価(本体3,333円+税) ()冊

●お取扱いは

お取次店経由でご注文される際は、こちらにご明記下さい

ふりがな	TEL() -
お名前	FAX() -
ご住所 〒	